

大道理かわら版 むくろじ

ひとく地域の方から応援を力に 自然薯農家 沖さん 見神さん 河原さん

四月。芝桜まつり会場内で毎日、自分たちの手で育てた「大道理産じねんじよ」製品を販売する自然薯農家の三人の皆さん。自然薯栽培を始めたきっかけ、日々の思い、これからの展望などについてお話を伺いました。



▲芝桜まつり会場での販売の様子です
左から見神さん、河原さん

見神さん「三人とも周南地域の半導体工場で働く同僚でした。勤めていた会社が台湾の会社を買収され、外資系に社名が変わり、なにより頑張っても利益が国外へ流れてしまうと考えると退社しました。」

自然薯づくりを始めたきっかけは、退社したメンバーの中でも仲の良い三人で、今後何をしたいか考えた時、自然の中で働きたい、農業をやろうということになりました。一緒に始めることになりました。何を栽培すれば良いのかについては、ホームページ等で情報収集し、せっかくなら日本の伝統野菜で、山口県が栽培発祥の自然薯が良いのではないかとということになり、栽培を始めることにしました。

三人とも、農業の知識や経験が無く、知り合いも、農業を始める地盤も全くゼロの状態からのスタートでした。そのため、まず栽培を始めるまでの土地探しが大変でした。農業委員会、各市の農林事務所などに栽培に使わせてもらえるような土地は無いかと聞いてまわりましたが、見つからず、市の農林課に相談して、協力して頂きながら、継続的に土地を探して頂き、大道理地区で栽培させてもらえることになりました。土地が見つかるまでには何カ月もかかりました。

貸して頂いた土地は元々田んぼだったので、水はけの良い土地を好む自然薯を栽培するには、大変さもありましたが、栽培を始めていくうちに、大道理の皆さんが色々声をかけて下さったり、トラクターを貸して下さいました。何かと力を貸して下さい、とても感動しました。

発行元
大道理夢求の里交流館
運営協議会
TEL: 0834-88-1830

平成29年
6月15日号
(No.21)



世帯数	190世帯
人口	384人
男性	175人
女性	209人
高齢化率	55.2%
(平成29年5月31日現在)	

自然薯栽培のこと

自然薯栽培は、三月半ばから五月末にかけて行う種付け作業にとっても手がかかります。



▲種付け作業風景です(2017年5月)
写真左は和田地区で自然薯を栽培されている大崎さん。同盟を結び、協力し合って栽培されています！

種付けは、耕すこと以外の全ての工程が手作業で、かなりの重労働です。今年は一万本を目標に作業を進め、無事植え終わりました。

春種付け (三月、五月)



① 畑をトラクターで耕しています。



② 自然薯を植えるための溝を作っています。



③ 自然薯を植えるための波板を並べて敷き、上に赤土をかけます。



④ 波板を敷いて土をかけた後、管理機で溝を作っています。



⑤ 自然薯の種芋を植え付けしています。



⑥ 植え付けた種芋を赤土で覆い、土をかけた後はトラクターと管理機で畝を整えていきます！



⑦ 管理機とトラクターを使って畝を整えた後、仕上げは手作業で畝を整えます。



⑧ マルチをかけた後は、種付け作業が完了です！

初夏芽出し (五月、六月)

種付けが終わって、約三十日ほど過ぎ、芽が出てくるようになります。マルチを自分の力で破って芽を出すことができないので、芽を出させるための「芽出し」という作業をしていきます。



① 芽が出てくると、マルチに突起が出来てくるので、芽を傷つけないよう慎重に穴を開けます。



② 穴から芽が出て来ました！

夏誘引 (六月、七月)

成長してツルが伸びてくると、ツル同士が絡まらないように誘引作業をします。



ツル同士が絡まないよう、伸びたツルをネットへ掛けていきます。



秋ムカゴ収穫 (十月)

秋にはムカゴを収穫します。ムカゴは9月ごろから付きはじめます。収穫時期は9月下旬から十一月初旬頃で、その頃になると葉の色が黄色くなり始め、指で軽く触っただけでポロッと取れる位になったら完熟です。食べ頃の旬も収穫時期と同じで十月から十一月が旬です。



② バドミントンのラケットを使って収穫作業中です！

【ムカゴが沢山穫れました！】



流通、販路開拓について

自然薯農家になり、栽培よりも難しいと感じていることは、流通のルートを開拓して販売するという事です。



芝桜まつり会場での販売の様子



広島県内のスーパーでの販売風景です



▲2017年5月山口市内のスーパーでの対面販売の様子です

芝桜まつりでの自然薯販売は、栽培を始めてからずっとさして頂いていますが、新たな販路を確保していくことが、生産者であり、経営者である自分たちにとっては欠かせません。昨年からは、スーパーに特設コーナーを設けて頂き、お客様との対面販売も年に数回ほどし始めました。



生産者、経営者の視点から徳山大学の学生に向け講義！

平成二十八年十一月には、徳山大学経済学部部の学生に向けて、専門の農業生産者であり、経営者としての視点で、経営者としての経済学、仕事に対する意識などについて、「プロ自然薯職人を囲んで」と題して、講演しました。講演を依頼されたきっかけは、ふるさと産品の店



▲徳山大学の学生さんに向け、講義しています

「講義の途中眠ってしまう学生がいるかもしれないので、ゲームを講義の中でして欲しい」と大学の先生から依頼されましたが、それは断り、自分たちの仕事への思いを真剣に学生さんたちへ伝えたいところ、食い入るような真剣な眼差しで話を聞いてくれて、途中眠ってしまうような学生はいませんでした。講義が終わってから書いてもらったアンケートでも、五段階での満足度調査で「五」を付けた学生が殆どで、「農業に興味があった」と答える学生も多数いて、これには、先生も驚かれています。



▲地元の方が畑に来られます！

地域の皆さんへの思い

畑仕事をしていて、皆さんが声をかけて下さったり、コーヒを持って来て下さったり、困った時には、力を貸して下さいます。何も知らずに大道理に来て自然薯栽培を始めましたが、大道理で本当に良かったと実感しています。

大道理でなければ続かないと思います。地域の皆さんには、忘年会に呼んでもらったり、ご飯を食べに連れて行って頂いたり、野菜やお米など頂いたり、地域の行事に声をかけてもらい、

参加させて頂き、こうして芝桜の時期には販売させて頂くなど親切にして頂き、感謝しかありません。河原さん「自然薯栽培を始めてからは朝、自然に目が覚めます。大変なこともありましたが、毎日が楽しく、充実しています。大道理だから続けることが出来ていると思います。」



▲種付け作業をされる沖さん

沖さん「元々自然が大好きで、サラリマン時代から山に親しんでいました。会社の状況が変わった時、自分がやりたいことをやるのは「今」だと感じ、希少価値のある伝統野菜の自然薯栽培を始めました。」

自然薯自体を知らないだとか、食べ方を知らない、高級食材のイメージで身近ではないという捉え方が一般的で、販売、流通の面では今はまだ、苦勞も多いですが、見神さん、河原さんが地域や、地域外へも販売をして広めてくれていて、徐々にですが、自然薯の知名度が浸透しつつあると感じています。テレビなどでも自然薯を特集した番組も放映され、これからはチャンスだと思っています。

利益を上げていくことも大切ですが、何より、自分自身としては、以前からあこがれていたライフスタイルで生活できている充実感があります。次のステージとしては、生活を安定させ、他にも野菜を栽培し、自然薯と共に加工して、幅広い形で流通、販売していきたいと考えています。

農業を全く地縁の無い土地で始める場合、地域からの信頼が得られなければ難しいと思います。自分たちが作業する姿勢を、ずっと見て下さっていた地域の方からの信頼を得ることができたことが、一番の財産です。作業場をお借りしたり、機械を快く貸して下さいたり、皆さんにいつもお世話になり、本当に感謝しています。大道理の皆さんへこれから恩返ししていきたいです。」

これからの展望と夢

見神さん「大道理地区で自然薯栽培を始めて、去年が三回目の収穫で、今年で四年目ですが、長く続けていくことが大切だと思っています。皆で頑張っていることが、道は開けると言えます。栽培の中で作業の大変さより、経営の面で厳しさを感ずることが多いですが、大道理の皆さんが暖かく、力になってくださるお陰で頑張ることが出来ています。これから、大道理地区で活動されている皆さんと連携して、一緒に何か作り出せば良いなと考えています。」

ひと アトリ工樹本 大道理漫画村 高村優太 (たむらゆうた)さん



▲高村優太さん

今年の春、一名の若者が加わりました！遅くなりましたが、ご紹介いたします。

高村さん「岩国市出身です。YICキャリアデザイン専門学校を三月に卒業したばかりで、今年二十一歳になります。」

昨年からは樹本先生に大道理の漫画村へ来るよう声をかけて頂いていました。実家だと甘えが出るので修行のつもりで今年決心して、大道理に来ました。

絵は、小畑健さん、ストーリーは浦沢直樹さんから影響を受けました。

講談社の週刊ヤングマガジンの新人賞で、奨励賞を受賞し、担当さんが付きました。

漫画のストーリーは車を運転している時などに浮かんできます。人を感動させられるような、人の心に残るような作品を作りたいと思っていますが、ジャンルにこだわらず色々な作品を描いていきたいです。

漫画を通じて、地域活性化に貢献していきたいです！よろしくお願ひいたします。漫画村の切戸さんは「一番若い高村君が入って来て、漫画村はより明るくなると思いますし、ライブも増えました。」



▲大道理漫画村のメンバー (原田さんはこの日不在でした)

矢尾君も連載を持っていて、一年目よりも良い結果が出るように頑張ります。と話して下さいました。

